

(9) 研究課題評価

ア 実施状況

① 対象

県立試験研究機関が行う試験研究開発課題（調査、分析を含む。以下「研究課題」という。）のうち、次に掲げるものを対象とする。

ただし、研究を含まない技術移転、普及及び指導のみに係るものについては評価の対象としない（研究計画が技術移転、普及及び指導を含むものであるときは、当該技術移転、普及及び指導についても評価の対象とする）。

(1) 目的設定

新たに予算計上しようとする研究課題

(2) 中間評価

令和6年度以前に着手し、令和7年度に予算計上している研究課題及び研究機関を延長しようとする研究課題

(3) 事後評価

令和6年度に終了した研究課題

○実施件数

目的設定	13件	※令和7年度当初予算関係
中間評価	19件	
事後評価	14件	

② 実施時期

(1) 目的設定 令和6年10月

(2) 中間評価 令和7年 6月

(3) 事後評価 令和7年 6月

③ 評価に用いた観点及び判定基準

(1) 目的設定

観点	考察項目
必要性	政策的妥当性
有効性	研究開発効果
技術的達成可能性	技術的達成可能性
	研究計画・研究体制の妥当性

(2) 中間評価

観点	評価項目	判定基準
必要性	ニーズの状況変化	a ニーズの増大とともに研究目的の意義も高まっている
		b ニーズに大きな変動はない
		c ニーズの低下とともに研究目的の意義も低くなってきている
有効性	効果	a 大きな効果が期待される
		b 効果が期待される
		c 小さな効果が期待される
目標達成可能性	進捗状況及び目標達成阻害要因の状況	a 計画以上に進んでいる
		b 計画どおりに進んでいる、又は、進捗の遅れや目標達成の阻害要因はあるが今後の努力により、最終到達目標を達成できる見込みである。
		c 進捗の遅れや目標達成の阻害要因があり、最終到達目標を達成できない恐れがある。
総合評価	A	9～8点
	B	7～6点
	C	5～4点
	D	3点

(3) 事後評価

観点	評価項目	判定基準	
目標達成	最終到達目標の達成度	a	十分達成できた
		b	ほぼ達成できた
		c	達成できなかった
有効性	研究成果の効果	a	効果大
		b	効果中
		c	効果小
総合評価	A	6 点	
	B	5 ～ 4 点	
	C	3 ～ 2 点	

イ 研究課題評価結果の概要及び評価結果の反映状況

○評価結果の概要

中間評価及び事後評価の詳細は、次頁の一覧表及び各評価調書を参照

○反映状況

■ 中間評価

研究計画内容の見直しや研究課題に係る今後の対応方針及び予算要求に反映させるとともに、予算要求・予算編成の資料として活用（個別課題の対応状況は、各評価調書を参照）

■ 事後評価

実施中又は将来の類似研究の課題設定等に反映させるとともに、研究機関の研究基本方針や研究計画の策定の検討資料として活用

中間評価（継続研究課題）結果一覧

No	課 題 名	研究機関名	事業年度	評価			
				ニーズ の状況 変化	効果	進捗状況 及び目標 達成阻害 要因	総合 評価
1	網羅的解析データを活用した県産食品・素材の競争力強化手法の開発	総合食品研究センター	R6～R8	a	b	b	B
2	八郎湖西部承水路におけるSSの環境動態解析	健康環境センター	R6～R8	b	b	b	B
3	大規模水田作におけるスマート農業技術を活用した労働及び土地生産性向上技術の確立	農業試験場	R4～R8	a	b	b	B
4	高密度播種苗による良食味米品種の省力安定生産技術の確立	農業試験場	R4～R8	a	a	b	A
5	生産・物流現場に求められる条件に対応する新たな複合品目の提案	農業試験場	R6～R8	a	b	b	B
6	秋田の米ぢからを強化する銘柄米の開発	農業試験場	R6～R10	a	a	b	A
7	秋田の夏秋期の生産力を引き出す野菜栽培技術の開発	農業試験場	R6～R10	a	b	b	B
8	園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適應する品種の選抜	果樹試験場	R3～R12	a	a	b	A
9	リンゴの土着天敵フル活用のための持続可能な環境負荷低減防除体系の構築	果樹試験場	R4～R8	a	a	b	A
10	雨よけ施設を活用した果樹の省力・高収益生産モデルの構築	果樹試験場	R5～R9	a	a	b	A
11	比内鶏の始原生殖細胞および精液の凍結保存に関する研究	畜産試験場	R6～R8	a	a	b	A
12	磯根資源の管理と蓄養技術の開発	水産振興センター	R4～R8	a	a	b	A
13	ハタハタ等重要魚種の漁場予測技術の開発	水産振興センター	R6～R10	a	a	b	A
14	内水面重要魚種の増殖・管理技術の開発	水産振興センター	R6～R10	a	b	b	B
15	多様な樹種構成による秋田の海岸防災林造成技術の開発	林業研究研修センター	R4～R8	a	b	b	B
16	再造林オプションとしての広葉樹林施業技術の刷新	林業研究研修センター	R5～R9	a	b	b	B
17	シイタケ生産の経営基盤を強化する新たなキノコの導入と栽培システムの構築	林業研究研修センター	R6～R10	b	b	b	B
18	A I 導入支援パッケージの開発とその高度化	産業技術センター	R6～R8	a	b	b	B
19	生産性向上に寄与する有機／無機複合コーティング技術の開発	産業技術センター	R6～R8	a	a	b	A

事後評価（令和6年度終了研究課題）結果一覧

No	課 題 名	研究機関名	事業年度	評価		
				目 標 達成度	効果	総合 評価
1	生産地加工における農林水産物の高付加価値化	総合食品研究センター	R4～R6	b	b	B
2	新規麹菌を用いた新たな秋田オリジナル甘酒の開発	総合食品研究センター	R4～R6	a	b	B
3	新しい生活様式に対応した低アルコール及び複合型アルコール飲料の開発	総合食品研究センター	R4～R6	a	a	A
4	ライフステージに応じた機能性食品の開発	総合食品研究センター	R4～R6	b	b	B
5	輸出向け発酵調味料の開発	総合食品研究センター	R5～R6	b	b	B
6	発酵特性デザインを可能とする味噌用酵母育種技術の検討	総合食品研究センター	R6～R6	b	b	B
7	花きの市場競争力強化を目指した新栽培技術の開発	農業試験場	R2～R6	b	b	B
8	野菜オリジナル品種の育成と親系統等の増殖	農業試験場	R2～R6	b	b	B
9	新規就農者の現状と課題及び中等教育以前のキャリア教育実態の把握	農業試験場	R4～R6	b	b	B
10	水稲作における新たなケイ酸・カリ供給量の推定方法の開発と施用基準の策定	農業試験場	R4～R6	b	a	B
11	多雪地帯におけるリンゴジョイント栽培の生産性および耐雪性評価	果樹試験場	R2～R6	b	b	B
12	比内地鶏の肉質及びおいしさの日齢変化に関する研究	畜産試験場	R3～R6	a	b	B
13	種苗生産・放流技術の高度化に関する研究	水産振興センター	R2～R6	b	a	B
14	秋田スギの低密度植栽に対応した新施業体系の確立	林業研究研修センター	R2～R6	a	a	A